

「実験機器関連 PCB 調査業務（仮称）」見積依頼書に対する質問への回答

質問事項	回答
対象の既設メーカーをご教示願います。	総合技術センター ウェブサイトの下記 URL (https://www.water.go.jp/kanto/sougicenter/bids/estimate.html) に、「実験機器リスト」を掲載しますのでご確認ください。
対象設備の図面や詳細リスト等が御座いましたら、ご教示願います。	
メーカーが判明している 104 基および実験機器 124 基について、メーカー名、品名、型式などを記載したリストがございましたら、ご提供いただくことは可能でしょうか。	
機器の分解・復旧作業を伴うため、代表的な機器の画像および保管状況が分かる現場写真をご提供いただくことは可能でしょうか。	
調査対象の内訳をご教授願います。 ※対象機器の種類によって費用が異なるため	
情報が機器と台数のみかと思いますので超概算見積での提出となります。 そのため、現場調査後の正式見積の際、大幅な価格の乖離が発生する場合がございます。 ※機器状況、作業環境、移動時間などの要素が積算に大きく影響するため	
第 3 節(3)銘板等調査② 「実験機器の保管図書」について、図書はどれくらいのボリュームでしょうか。 実物を借用したり、データでいただけたりするのでしょうか。	対象となる保管図書は、全体で数冊です。 また、図書の貸出は可能ですが、電子データはございません。
同上 「含有可能性が確認された実験機器は【PCB 有】」について確認させていただきます。 これは、分析しないと分からない、微量 PCB 汚染の可能性を否定できない機器は分析を行わずに一律で【PCB 有】と区分するという理解で良いでしょうか。	ご認識の通りです。

同上 「上記の区分ができない実験機器については、【分析対象】と区分」について確認させていただきます。 ここで【分析対象】と区分されるものは、(2)で【不明】と区分されたものも含まれます。 つまり「PCB 含有可能性部品の存在を否定できないもの」(＝確認をできなかったもの)となりますが、確認できないものからどのように分析するイメージでしょうか。	銘板等による確認で PCB 含有の疑いがある機器は【PCB 有】と判断します。銘板の紛失や摩耗等により確認できないものを【不明】とし、メーカーへの確認等を行ってもなお PCB 含有の有無が判明しない機器について、分析調査を行うものとします。
第 4 節 PCB 分析調査の見積台数は 124 期でよろしかったでしょうか。 仕様書記載の通り、第 3 節実施後に分析台数が判明するため、現時点の情報で見積をするとすれば、最大数の 124 基になります (1 期 1 分析前提)	
台数が多いため、調査作業に 2～3 日要する見通しです。 平日連続作業を想定した積算でよろしいでしょうか。 また、銘板など停電状態でないと確認できない場合もございますが、調査時の停電は予定されていますでしょうか。	平日連続作業を想定した積算で差し支えありません。停電 (消灯) については、別添平面図の⑤・⑥は屋外保管 (未通電) ですが、それ以外のエリアは施設の利用状況を確認しつつ、調査時に一時的な消灯等の対応を行う予定です。
第 4 節 PCB 分析調査も上記同様に平日連続作業想定でよろしかったでしょうか。 作業日数は台数によりますが 3～5 日間程度の想定になりますが、停電計画は問題ありませんでしょうか。	分析調査については、数基程度を想定しており、1 日で完了する予定としています。
調査時の分解についての記載がありますが、分解を想定されているものはカバー程度のものでしょうか ※分解に工数を要する場合は積算に影響するため。また、変圧器、コンデンサーなど機器であれば外観である程度判別でき、分解などは不要であると考えため	大半の機器はカバーを取り外す程度の作業で対応可能と想定しています。
見積作成のため基準書をいただきたく存じます。	弊社の積算基準には今回の作業内容に関わる基準がないため、基準書をお示しすることはできません。 見積仕様書や「実験機器リスト」から歩掛のお見積りをご提出ください。